

マイナカード

JJ1SXA/池

「マイナカードが健康保険証になる」、「今、申請すれば、最大20,000円分のポイントがもらえる」、「牛に引かれて善光寺参り」では無いが、こんな言葉につられて、いよいよマイナカードを作らなければいけないかと、改めて申請方法を調べて見た。

申請方法は、個人番号通知書および通知カードに同封されている交付申請書等を使用した**郵送申請、オンライン申請、まちなかの証明写真機での申請**があるとのこと。

「オンライン申請」が一番合っているような気がしたが、「メールアドレス登録」はともあれ、「顔写真を登録」が、登録されたメールアドレス宛に通知される申請者専用WEBサイトにアクセスして登録と、何か面倒くさい感が拭えません。

「まちなかの証明写真機からの申請」が簡単そうだが、最後に証明写真機で写真撮影したのは、数十年前のこと、マイナカード申請に対応している「まちなかの証明写真機」がどこにあるかと検索したら、月一で行っている外科病院の近くの「ドラッグストア・クリエイト」の駐車場にあることが分かった、それで、病院へ行ったついでに、どんなものかと見ることにする。

そんな訳で、定期の受診時期が来て病院へ行った時、処方箋を貰って、病院近くのクリエイトに回り薬を買ったついでに、写真撮影機の様子見た。

個人番号交付申請書を持って行けば、即申請可だったが、あいにく交付申請書を持って行かなかったのが申請はできなかったが、改めて来るのも面倒なので、書類郵送申請をすることにして、写真だけ撮影することにした、昔のイメージで想像していたものとは違って、何度も撮り直しができて、撮った写真の中から、一番良い物を選ぶのには一寸びっくりだった。

写真機からの申請だと、交付申請書のQRコードを読み取らせることで、入力が必要無く簡単に申請できるが、郵送申請の場合は、交付申請書に入力が必要だ、とは言っても何ヶ所も無く、難しいことも無い、写真を所定の場所に貼り付けて完了、交付申請書用紙に同封されていた返信用封筒に入れて投函するだけ。

尚、この交付申請書用紙や返信用封筒を無くした場合は、WEBからダウンロードできる、政府がマイナカードの普及に力を入れているだけに親切だ。

「郵送申請」、「オンライン申請」、「まちなかの証明写真機での申請」を比較すると、「まちなかの証明写真機での申請」に軍配が上がる、QRコードを読み込むことで、入力の手間が無く、超簡単だ。

申請後、30日弱で、交付通知書のはがきが来た、受け取りは私の場合は、立川市役所だ、受け取りには、「交付通知書（はがき）」、「通知カード」と「本人確認書類」が必用だ、

「本人確認書類」は以下の通り、①住民基本台帳カード（写真付きに限る。）・運転免許証・運転経歴証明書（交付年月日が平成24年4月1日以降のものに限る）・旅券・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳・在留カード・特別永住者証明書・一時庇護許可書・仮滞在許可書のうち1点

②これらをお持ちでない方は、「氏名・生年月日」または「氏名・住所」が記載され、市区町村長が適当と認める2点（健康保険証、年金手帳、社員証、学生証、学校名が記載された各種書類、医療受給者証等）ということで、「交付通知書（はがき）」「運転免許証」「健康保険証」を持って、市役所窓口へ、ここで、「署名用電子証明書用の暗証番号…英大文字と数字で6～16文字」と「利用者証明用の暗証番号（電子証明書・住民基本台帳・券面事項入力補助用…この3点については同じもので良く、数字4文字）をパソコンの画面で入力、晴れてマイナカードが手元に、後は、健康保険証利用の手続きとマイナポイントの申込だ。

(2022年11月記)